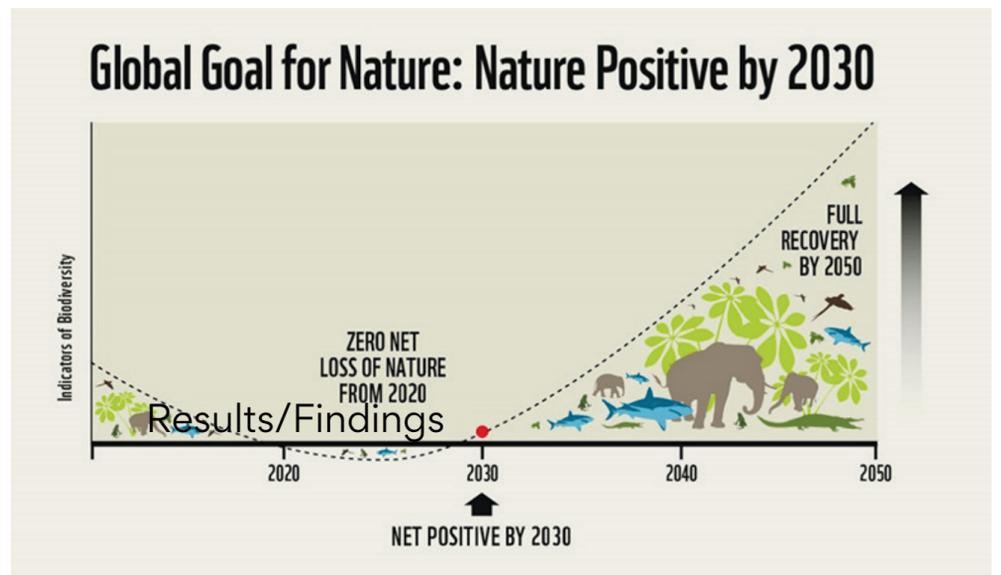


ネイチャーポジティブプロジェクトとの連携

はじめに：みなかみ ネイチャー ポジティブ プロジェクト（みなかみNPPJ）

群馬県みなかみ町、三菱地所株式会社、公益財団法人日本自然保護協会が、2023年から10年間の連携協定に基づき進めている取組です。行政・企業・NGOが一体となって、それぞれの知見を活かしながら、ネイチャーポジティブな社会の実現を目指しています。本取組には、企業版ふるさと納税を活用し、三菱地所は、みなかみ町に「環境・生物多様性保全活動への支援」として寄付をしています。

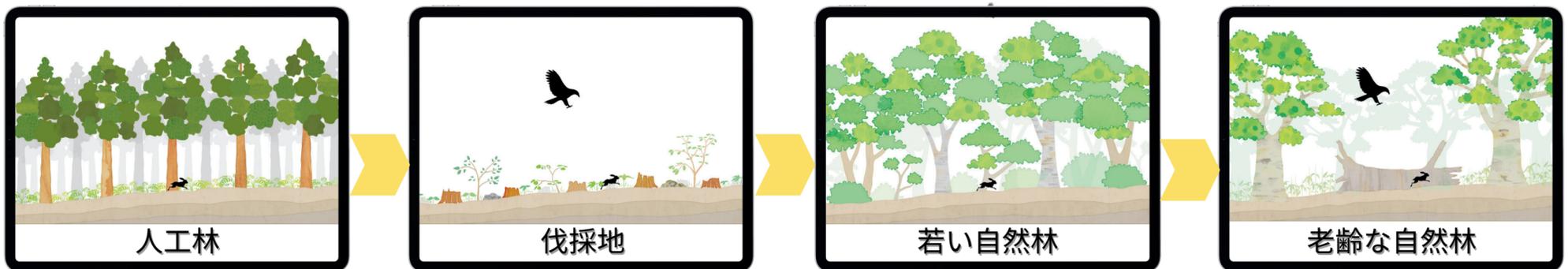


ネイチャーポジティブとは？

人と地球のために、生物多様性の損失に歯止めをかけ、自然を回復させること！

活動事例：生物多様性が劣化した人工林を自然林へ転換

管理の行き届いていない人工林は、自然林よりも生物多様性が低いことがわかっています。この取組では、そのような人工林を本来の植生等を踏まえた自然林へ戻していくことで、生物多様性の保全と回復を目指します。



国有林での取組：赤谷プロジェクトと連携

赤谷プロジェクトエリアで、イヌワシの狩場創出という目的も重ね合わせて、アカマツを中心とした人工林、約0.5haの植生調査と伐採を行いました。また、様々な主体と連携しながら木材の利活用やブランディングを進めています。

まとめ

みなかみネイチャーポジティブプロジェクトは、生物多様性の保全と再生を目指して行政・企業・NGOが連携する取組です。赤谷プロジェクトと同じみなかみ町をフィールドとするプロジェクトであり、今後も様々な場面で連携しながら「生物多様性の復元」と「持続的な地域づくり」を達成していきます。